



第54回日本臨床神経生理学会学術大会 サテライトシンポジウム5 精神科における睡眠呼吸障害診療の可能性をさぐる

日時：2024年10月24日（木）18:30～20:30

会場：札幌コンベンションセンター第5会場（2F 小ホール）

日本においてPSGによる生理学的観察に基づいた研究に取り組んだのは精神科医であったことから、最初に睡眠呼吸障害の研究に携わったのも精神科医であった。しかし、時代の変遷とともに今や診断も治療も脳波を離れて簡便に一般医が行っているのが現状である。従事者が減り、精神科領域で診断や治療が全くできない状況は、本来治療されるべき患者が取り残されることとなり、精神科領域でのリバイバルは必要と思われる。そのためにクリアされなければならない課題を抽出し、どのような取り組みが可能かについて解説する。

座長：香坂 雅子 先生 石金病院

立花 直子 先生 関西電力病院 睡眠関連疾患センター/関西電力医学研究所 睡眠医学研究部

演題1：精神科病院における睡眠診療の実際

演者：香坂 雅子 先生 石金病院

演題2：精神疾患における睡眠呼吸障害の診断と治療

演者：杉田 尚子 先生 京都医療センター精神科

演題3：精神科疾患における睡眠呼吸障害の検査方法

演者：紀戸 恵介 先生 京都大学医学部附属病院精神科神経科

演題4：睡眠呼吸障害の歯科治療の実際—CPAPが使えない施設や患者に対してできること

演者：津田 緩子 先生 九州大学病院口腔総合診療科

共催：一般社団法人 日本臨床睡眠医学会 / 株式会社フィリップス・ジャパン